

2022年(令和4年)9月19日(月曜日)

# IOT合わせ低廉に

## アプリ拡充、DXを支援

### NTTテレコム

NTTテレコムは集中監視システムのトッププレイヤーとして、グッとびくんシリーズのLPWA速に向けオープンベ  
 ンチャーとして、グッとびくん・M2「グッとびくん・Lも活発で、集中監視を軸  
 2親機」グッとびくん・L2「グッとびくん・M2」の提供の陣容も固めてい  
 フルラインアップを揃える。

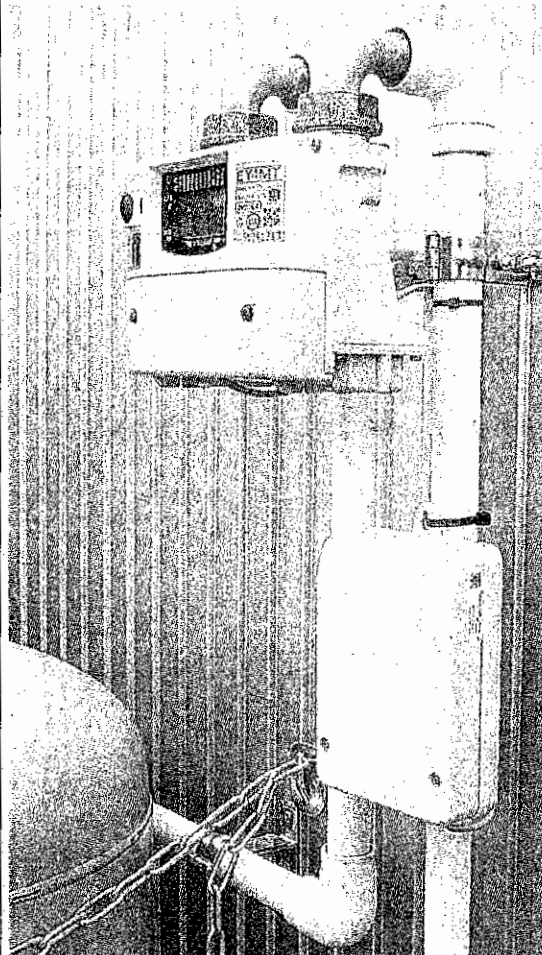
せることで集合住宅や住宅密集地などを面的に効率よくカバー。メーター直結型のグッとびくん・M2は、点在する住宅地のメーター接続を多様なインターフェースの複数ポート(Uバス/5ピン/接点切替端子、5ピン/接点切替端子、8ピン端子、接点端子)を備え、経済的に通信できる。

一方、アライアンスを積極化しアプリケーションを拡充させている。基幹システムではエナジー・ソリューションズとその親会社、桂精機製作所と3社協業、決済系ではNTTスマートトレード、キャッチボール、SMSサービスでFunction、監視センター業務を主体に愛知時計電機「アイチクラウド」と連携、IoT販促ツールでクラブネットと協業するなど多彩に連携し、ガス事業者のDX加速に向けたトータルソリューション提案へ地歩を固めている。

LPWA端末は省電力技術「eDRX」を適用したNTTドコモのLTE-Eを採用、テレコンプラEを組む合わせ、IoTと組み合わせ、定額で経済的なデータ通信を全国エリアで安定的に利用できる。

親機のグッとびくん・L、グッとびくん・L2は、グッとびくん・M2の親機は、グッとびくんシリーズの子機と組み合わせ

マルチワイド子機はグッとびくん・S子機の後継機種で複数ポート(グッとびくん・M2のポートと同じ)を有し、2世帯住宅での2メーター接続も1台の端末で対応できるのが特徴。



高い信頼性を武器にLPWA端末でもトップクラスのシェアを握る

これまで各種協業を通じて個別に提供してきたアプリケーションを、NTT東日本のサービス提供基盤上で連携するマルチテナント型ビジネスプラットフォーム「テレコム・ビジネスプラットフォーム」で提供する。今秋からサービス受け付けを開始する予定だ。